

⑳ 与謝野晶子の詩集『白樺の林』の巻頭の詩「池の平の月夜となりぬ」

池の平の月夜となりぬ
いけのたいら つきよ

⑳ 与謝野晶子の詩集『白樺の林』の巻頭の詩「池の平の月夜となりぬ」

池の平の月夜となりぬ
いけのたいら つきよ

㉑ 与謝野晶子の詩集『白樺の林』の巻頭の詩「池の平の月夜となりぬ」

池の平の月夜となりぬ
いけのたいら つきよ

㉒ 与謝野晶子の詩集『白樺の林』の巻頭の詩「池の平の月夜となりぬ」

池の平の月夜となりぬ
いけのたいら つきよ

㉓ 与謝野晶子の詩集『白樺の林』の巻頭の詩「池の平の月夜となりぬ」

池の平の月夜となりぬ
いけのたいら つきよ

㉔ 与謝野晶子の詩集『白樺の林』の巻頭の詩「池の平の月夜となりぬ」

池の平の月夜となりぬ
いけのたいら つきよ

㉕ 与謝野晶子の詩集『白樺の林』の巻頭の詩「池の平の月夜となりぬ」

池の平の月夜となりぬ
いけのたいら つきよ

㉖ 与謝野晶子の詩集『白樺の林』の巻頭の詩「池の平の月夜となりぬ」

池の平の月夜となりぬ
いけのたいら つきよ

㉗ 与謝野晶子の詩集『白樺の林』の巻頭の詩「池の平の月夜となりぬ」

池の平の月夜となりぬ
いけのたいら つきよ

㉘ 与謝野晶子の詩集『白樺の林』の巻頭の詩「池の平の月夜となりぬ」

池の平の月夜となりぬ
いけのたいら つきよ



妙高山 2454m(旧2446m)・赤倉山 2141m
前山 1932m(旧1935m)・神奈山 1909m

コピー及び複製可



与謝野晶子について及び各歌の解説や経緯等の
学習会の開催も準備しております。

与謝野晶子 白櫻集 池の平温泉選集
白櫻集 赤倉温泉 香嶽楼 所蔵
企画

妙高に縁(え)にある文豪を語る会
与謝野晶子倶楽部会員 野口 進
協力

市営食堂ホドリス(くびき野観光研究所)

与謝野晶子

白櫻集

池の平温泉選集

- ① 硫黄の香 樋より洩るるに導かれ 樂山荘 歸る夕ぐれ
- ② 少女達 玉を柱に 祈らずとも 妙高山の白樺に 倚れ
- ③ 關川の杉の澤村 深きさへ 見渡す山の夕月 夜かな
- ④ 妙高を消したる霧の裾 ひろし月の世界の垂れて
- ⑤ 斑尾は浮た だよるものと見え 心もとなき夕明 かりかな
- ⑥ 妙高山の山谷を雲 晴れ 眺むる夜となりけり
- ⑦ 山荘のかがりは 二つ妙高の左の肩に 金屋とまる
- ⑧ 我れ二夜留まりぬ けき妙高に 草の枕を月も借らまし
- ⑨ 宿借りてよろづの 蟬の聲を聞く 稀に 廣がる妙高の原
- ⑩ 白樺の林の中に 蟬鳴きて 池の平の月夜となりぬ

昭和十三年九月、池の平温泉に滞在した際に
読まれ白櫻集に掲載された歌を抜粋した。